

＜石西礁湖自然再生事業 環境省事業実施計画の概要＞

平成 20 年 6 月 13 日作成

1 実施主体

環境省九州地方環境事務所那覇自然環境事務所

2 自然再生の対象となる区域

石西礁湖自然再生全体構想の対象区域と同様とする。

3 自然再生事業の実施内容

(1) 対象区域の自然環境の課題（サンゴ礁生態系の衰退要因）

- ①降雨により農地等から流出した赤土の海中での堆積
- ②生活排水、畜舎排水の流入による水質の悪化
- ③海水温の上昇等
- ④オニヒトデ及び巻貝類による食害
- ⑤病気

(2) 目的

- ・モニタリング調査等により、サンゴ礁生態系の現状やその変動等を把握する。
- ・サンゴ群集の修復等を通じサンゴ礁生態系の回復を図る。
- ・全体構想の目標達成に向けた事業の評価手法を確立する。
- ・地域住民、産業従事者等が石西礁湖におけるサンゴ礁生態系のしくみを学び、自然再生の取組に参加することで、その効果や意義について学ぶ機会を提供する。

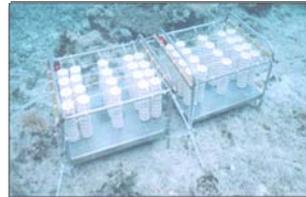
(3) 事業実施計画

- ①モニタリング調査：サンゴ群集構造及び環境要因の経年変化を長期的に把握するとともに、調査結果の一般公開を進めていく。
- ②サンゴ群集修復事業：有性生殖法を用いたサンゴ移植等、サンゴ修復の技術手法を改良しつつ、自然再生力を補助的に手助けする形でサンゴ群集の再生を目指す。

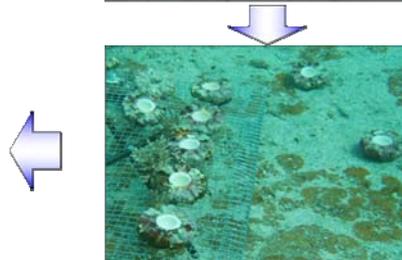
セラミック製の着床具



着床具を束ねて海底に設置



海底に移植



サンゴの幼生が着いた着床具を選別

- ③オニヒトデ駆除事業：オニヒトデの発生状況、被害状況及びサンゴ群集の現状等を踏まえた上で、地域関係者と連携し、効果的な駆除を行う。



駆除の様子



オニヒトデによる食害

- ④評価手法の確立：実現性のある目標設定及び可能な限り科学的データに基づいた評価手法を確立し、より多くの自然再生事業が効率的に成果を上げるよう促す。
- ⑤陸域対策との連携：関係機関等への働きかけや陸域対策の重要性を広く周知することで、赤土流出防止等の陸域対策に関する取組を促す。
- ⑥利用に関する負荷対策との連携：石西礁湖の利用実態及びその影響に関する調査を行うとともに、利用・保全に関連する規制との連携を図り、サンゴ礁生態系の適正な利用を推進する。
- ⑦意識の向上・広報啓発：自然観察会の開催等により、自然に対する感性を育み、自然の仕組み・大切さの理解を促すことで、人材育成や「サンゴ礁と共生するライフスタイル」を地域で実現していく。



自然観察会の様子